



# JAとマックスバリュで地産地消を促進 地元農産物コーナー作り地域農業を応援



## 【11月27日(金)AM7:00～ オープン】

JAあいち三河 マスコットキャラクター みのにくん

JAあいち三河（岡崎市／代表理事組合長：天野吉伸）はこの度、岡崎市美合町に新設される複合施設「イオンタウン岡崎美合」内にオープンする核店舗『マックスバリュ岡崎美合店』にて、マックスバリュ東海㈱と協力し、当JA管内農家の栽培する農産物を販売する【じもの】ブースを常設いたします。JAとマックスバリュ東海㈱が協力し地場野菜コーナーを設置するのは、三河地方では初、愛知県内でも2例目の試みです。ブースを設置することで地元農産物の販路拡大に繋がり、生産者の所得向上を目指します。また、採れたてで安全安心の農産物を提供することで、食を通じて『地域農業の応援団』増加を目指します。



▲マックスバリュの「じもの」販売ブース

※写真はイメージです

### 取材対応について（販売ブース撮影等）

日時：11月27日（金）AM7:00～  
（時間はオープン時間。その後24時間営業となります）  
場所：「マックスバリュ岡崎美合店」  
（岡崎市美合町字つむぎ南1番地1 イオンタウン岡崎美合内）  
出荷者：当JA東部特産部会に所属する地元農家  
（最初は約10人が登録し、徐々に登録農家を拡大予定）  
出荷物：当部会員の育てたキャベツ、サトイモなどに加えJA加工品（岡崎茶、蒸し大豆）などを予定

### 消費者のメリットとして

①その日に採れた新鮮な農産物を安値で購入できる  
②地元で栽培され、農薬基準も満たした安全安心な農産物  
物が買える など多くのメリットがあります。  
また、JAとしても農産物の販路拡大や農家の売り上げ向上、マックスバリュ東海㈱としても地産地消で消費者が安心して購入できる商品の販売が可能となります。

販売に至った経緯として、マックスバリュ東海㈱の店舗近郊で作られた安全で新鮮な地元農産物の販売強化に力を入れていた点とJAあいち三河のコロナ禍においても安定した農産物の供給ルートを探していた点が合致し、販売に至りました。じものブースを設置することで、多くの消費者に対して【じもの】の農産物を販売していきます。

<お問い合わせ> JAあいち三河 総合企画室 企画広報課（担当：榊原）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。